



漢方薬について

今回は漢方薬についてのお話です。先日の事業仕分けで取りざたされていましたが、漢方薬を服用している人以外には知られていないかも知れませんね。

■漢方薬と西洋薬はどちらが効く？

それぞれに違った持ち味があり、両者を比較することはできません。西洋薬は、1つの症状を取り除くための病態などを研究して作られた薬です。熱を下げる、痛みをとる、ホルモンの分泌を促す、血管を拡張させるなど、1つの症状に対して効果を求めています。

一方、漢方薬は、複数の生薬が相乗的に体に作用し、病気を治す力を高めていきます。一つ一つの作用は穏やかであっても、いくつもの症状をまとめて解消していきます。

西洋薬と漢方薬にはそれぞれ得意

分野があり、最近はお互いの持ち味をうまく利用して、西洋薬と漢方薬を併用しながら病気を治していくケースも増えていきます。

■漢方薬はお湯で飲まない？

エキス製剤の漢方薬は、水で飲んでも構いませんが、熱いお湯に溶かしてお茶のように飲むと、薬の吸収スピードが早くなったり、香りが効果を高めたりするため、効果は高まります。

一方、水やお湯なしで直接飲むのはよくありません。口の中やのどにくっついたり、なかなか溶けず吸収スピードが遅くなったりするほか、まれに胃を荒らしてしまうこともあるからです。

■漢方薬は効きが遅い？

漢方薬は効果がゆっくりと現れるイメージがありますが、中には速効性のある漢方薬もあります。その代表選手は、風邪のときに処方される「葛根湯」、こむら返りのときに処方

される「芍薬甘草湯」、アレルギー性鼻炎のときに処方される「小青竜湯」などで、体質や症状に合っていれば、服用後30分以内で効いてくることもあります。

また、ゆっくりと効き目が現れる漢方薬でも、体質や症状に合っていれば、飲み始めて2〜4週間ほどで症状が改善されたり、主症状以外の症状が治まってくるなど、体に何らかの変化が出てくる場合があります。改善がみられない場合は、別の漢方薬が適している可能性があるので、担当医に相談してみましょう。

ほかにも分からないことがあれば、医師や薬剤師に相談してください。

※前号の「ジェネリック医薬品の文中に誤りがありました。『1500円の3割負担で750円となり、差額は250円』と記載しておりましたが、正しくは『1500円の3割負担で450円となり、差額は450円』です。ご迷惑をおかけ致しましたことを謹んでお詫び申し上げます。